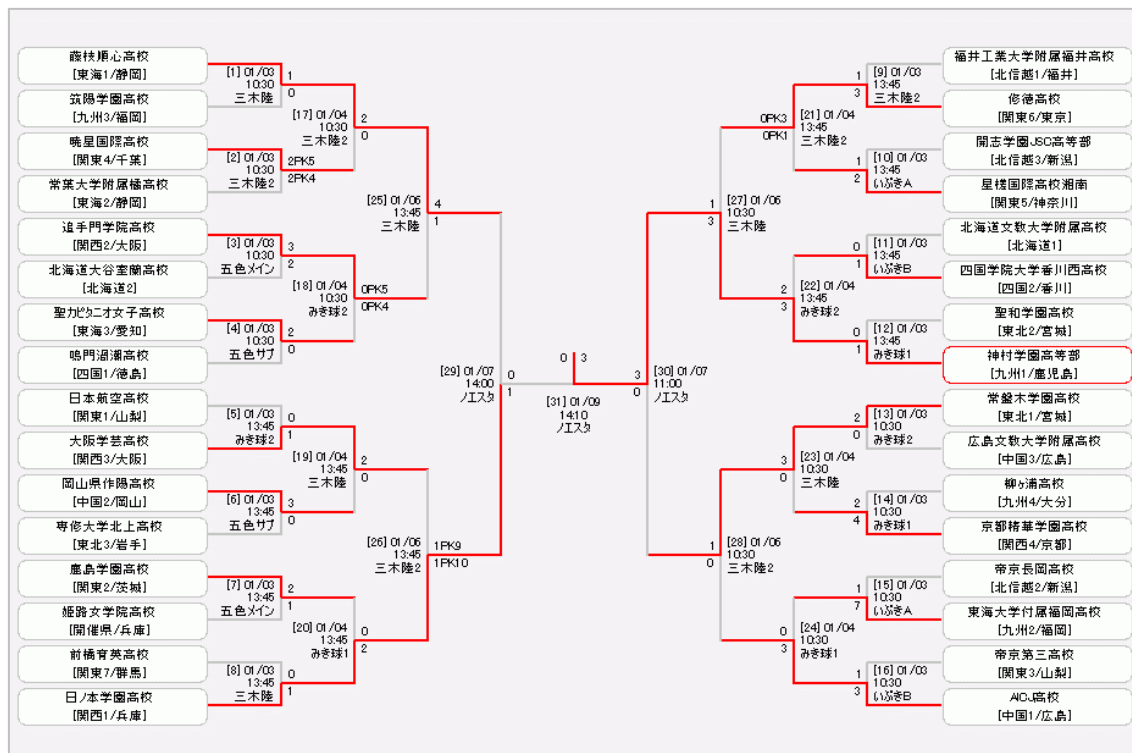


第30回全日本高等学校女子サッカー選手権大会は1月9日(日)に決勝が行われ、
 神村学園高等部（九州1/鹿児島）が16大会ぶり3回目の優勝を達成、全国高等学校
 総合体育大会（インターハイ）と合わせて2冠を達成しました。

日ノ本学園高校（関西1/兵庫） 0（前半0-0、後半0-3）3 神村学園高等部



寺師 勇太 監督（神村学園高等部）

最高の環境で、最高の相手に良さを引き出していただいたという思いが一番大きいです。試合前から1点では勝てないと言っていたものの、3得点は出来過ぎとも思いますが、選手たちがよく走り切ってくれました。ありがとうございます。インターハイもそうでしたが、優勝よりも1試合で全力を出し切ることを目標に掲げていました。全国の舞台で夏は4試合、冬は5試合と合計9試合、よく走り切ったと思います。

愛川 陽菜 選手（神村学園高等部）

私自身2年前に決勝で負けて、最後に負けたら意味がないと痛感していました。攻撃的なサッカーをしつつ守備はしっかり耐えるという、1年間やってきたことを決勝で出し、自分たちは間違っていなかったと証明できて大変うれしく思います。1、2年生を絶対ノエビアスタジアムに連れていこうと意識していました。「ここに来なければ」と思う、帰る場所をつくってあげられて、私の中では満足です。試合前は、このチームを最後に笑って終えられたらいいなと思っていたのですが、結果的に2冠を達成できてうれしいです。

※（公財）日本サッカー協会のHPを参照



※神村学園女子サッカー部の Facebook を参照



※神村学園女子サッカー部の Facebook を参照



第30回全日本高等学校女子サッカー選手権大会 決勝戦 【31】

順位	得点数	氏名	チーム名
1	4	三富 りりか	神村学園高等部
1	4	篠田 帆花	日ノ本学園高校
3	3	愛川 陽菜	神村学園高等部
3	3	松崎 こころ	東海大学付属福岡高校

※（公財）日本サッカー協会のHPから参照